

コトブキ通商株式会社

Pick Up!

平成29年度

事業計画名

高効率塗装乾燥設備導入計画

概要

弊社は産業向け及びインフラ設備向けの防音装置を製造しており、製造過程の塗装作業の処理量増、品質向上、低燃費、高作業効率（増員を含む）、技術継承の実現のため、弊社専用の塗装乾燥炉導入を計画する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

＜事業類型＞ 一般型

成果

弊社専用のガス式通過型乾燥炉を導入した結果、処理量増と品質向上が図られたことから、増員のための採用活動を行った。



塗装ブース



防音ボックスのフレーム



防音材の埋め込み



大型防音装置の部材

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

コトブキ通商株式会社（千曲市）

コアテクノロジーは知識と経験で蓄積した防音技術。
提案力とチャレンジ精神で幅広く商品開発を展開。

「防音」に特化した環境装置メーカーへ

日本では高度経済成長に伴って公害問題が深刻化。1971（昭和46）年に環境庁が発足し、民間企業にも公害対策の必要性が広まってきました。



高速道路料金所ブース

コトブキ通商は、この時代に公害対策設備の防音装置を受注。さらに働く環境が重視されるようになると、高速プレス機用防音ボックスの開発にいち早く着手し、「防音」に特化した環境装置メーカーとしての地歩を築きます。

一方で、半導体不況など業界の浮沈に左右されがちなのが悩み。そこで8年前、3代目の森川英樹社長が社長に就任すると、防音装置開発で培った豊富なノウハウを武器に「待ちから攻めへ」の営業展開を始めます。

その成果のひとつが、首都圏を中心にスペックの高い製品を供給し続ける、高速道路料金所ブース。「防音装置のノウハウがあってこそこの製品。当社ならできだろうという顧客のオーダーに応えました」。（森川社長）

さらに水素ステーション向けコンプレッサー用防音装置は顧客からの求めに応じて基本設計から提案。外観の美しさでも高く評価され、ステーションを構成する各種機械をユニット化し、設置費用のコスト削減を実現した新たな製品へとつながっています。

「防音」をコアテクノロジーに幅広く商品開発を展開する同社。2020年には長野県SDGs推進企業登録制度に登録し、社会の音環境改善にも取り組んでいます。

顧客が欲しいものを供給できる体制づくり



建設中の水素ステーション（長野市北長池）

非常に幅広い分野向けに多品種小ロットで製品を提供する同社にとって、ネックは塗装工程。社内に対応する特殊品は

作業手順が多く、短納期化とコスト低減に大きな障害になり、難易度が低いものは外注対応のため利益確保も難しくなっていました。

この問題を解決するため、平成29年度ものづくり補助金を活用し、ガス式通過型乾燥炉を導入。塗装工程の効率化と省エネ化、処理量アップはもとより、塗装品質の向上も実現しました。

「受注設備が大型化しており、安定した塗装体制の構築は重要なテーマ。塗装品質が向上したことで、さらに安心して任せられると顧客からも高く評価されています」と森川社長。「初めての補助金申請でしたが、思い切ってチャレンジして良かったと思います」。

一方、同社では鉄などの金属を使った防音装置だけでなく、軽量かつ柔軟性のあるマットタイプの防音カバーも開発。防音が必要な現場ごとに最適な設備をオーダーメイドで対応し、「一つ一つチャレンジしながら、深掘りできるものをつねに探しています」。



塗装工程に導入した
ガス式通過型乾燥炉

「当社が製造するものはとてもローテク」と森川社長。自動化が難しい生産環境だけに、工場内の作業環境改善が今後の大きなテーマになっています。



コトブキ通商株式会社

代表 代表取締役 森川 英樹
創業 1958（昭和33）年10月
資本金 2,000万円
従業員数 29名
本社 千曲市桜堂245-6



TEL.026-272-0674 FAX.026-274-2441
事業内容 騒音防止機器の製造販売、防音工事、耐震補強工事、有料道路料金所ブース製造

<https://www.kotobukitusho.co.jp>